

# 函館市認知症初期集中支援チーム

(はこだてオレンジケアチーム)

## 活動状況について

函館市保健福祉部高齢福祉課

# はこだてオレンジケアチームの取り組み

## 1 活動状況（平成30年4月～平成31年1月末）

疾患 センター	対象者 の協議	訪問支援 対象者	チーム 員会議	支援終了		備 考
				人数	訪問延べ 回数	
富田病院	4名	1名	1回	－	－	チーム員会議：随時開催
渡辺病院	3名	2名	5回	2名	25回	チーム員会議：随時開催
亀田北病院	8名	7名	10回	3名	31回	チーム員会議：毎月第2木曜日
計	15名	10名	16回	5名	56回	

# 対象者の内訳

疾患センター	相談機関	対象者の協議	訪問支援対象者
富田病院	地域包括支援センターあさひ	0	0
	地域包括支援センターこん中央	2	0
	地域包括支援センターときとう	1	0
	市高齢福祉課	1	1
渡辺病院	地域包括支援センターゆのかわ	0	0
	地域包括支援センターたかおか	1	1
	地域包括支援センター社協	2	1
亀田北病院	地域包括支援センター西堀	2	1
	地域包括支援センター亀田	1	1
	地域包括支援センター神山	2	2
	地域包括支援センターよろこび	3	3

# はこだてオレンジケアチームの取り組み

## 2 チームの支援対象者とならなかった事例

(平成30年4月～平成31年1月末)

### ○ 富田病院：3件

① 本人の受診拒否・近隣トラブル・警察介入 → 入院

② 受診困難・生活破綻 → 介護意見書を作成  
介護保険サービス利用

③ 治療中断・家族の認知症の理解不足・警察介入 → 入院

# はこだてオレンジケアチームの取り組み

## 2 チームの支援対象者とならなかった事例

(平成30年4月～平成31年1月末)

### ○ 渡辺病院：1件

#### ① 本人が受診を拒否



家族の説得で本人が受診可能となり，介護保険申請につながった。

# はこだてオレンジケアチームの取り組み

## 2 チームの支援対象者とならなかった事例

(平成30年4月～平成31年1月末)

### ○ 亀田北病院：1件

- ① 本人の受診拒否・介護サービス利用拒否,  
家族の認知症の理解不足



家族支援を中心に本人との信頼関係の構築をはかるため  
当面包括支援センターのみで支援継続

## 対象者の概要

	年齢・性別	世帯	把握ルート	認知症高齢者の日常生活自立度（介入時）	診断（介入後）	介護サービス（介入後）	終了時状況	支援期間（初回訪問～支援終了まで）	相談～支援対象者として決定するまでの期間
A	60代後半・女	夫・子と同居	ケアマネ	I	軽度認知障害（MCI）	介入時から継続利用	在宅継続	123日	2日
B	80代前半・女	子と同居	家族	Ⅱa	混合型認知症	介護保険サービスの利用に至る	在宅継続	125日	2日
C	80代前半・女	子と同居	SOS事業	Ⅲb	アルツハイマー型認知症	介護保険サービスの利用に至る	—	—	8日

# 対象者の概要

	年齢・性別	世帯	把握ルート	認知症高齢者の日常生活自立度（介入時）	診断（介入後）	介護サービス（介入後）	終了時状況	支援期間（初回訪問～支援終了まで）	相談～支援対象者として決定するまでの期間
D	80代前半・男	独居	家族	II a	アルツハイマー型認知症	要介護認定まで至る	入院中（施設入所待機中）	190日	1日
E	80代前半・女	子と同居	家族	I	認知症（病型不明）	介護保険サービスの利用に至る	在宅継続	222日	7日
F	70代前半・男	独居	郵便局	II a	認知症（病型不明）	介護保険サービスの利用に至る	グループホーム入所	46日	1日



# 対象者の概要

	年齢・性別	世帯	把握ルート	認知症高齢者の日常生活自立度（介入時）（※1）	診断（介入後）	介護サービス（介入後）	終了時状況	支援期間（初回訪問～支援終了まで）	相談～支援対象者として決定するまでの期間
G	80代前半・女	子と同居	家族	Ⅱb	混合型認知症	介護保険サービスの利用に至る	—	—	7日
H	80代前半・男	妻・子と同居	ケアマネ	Ⅱa	混合型認知症	要介護認定まで（サービス利用拒否）	—	—	8日
I	70代後半・女	独居	本人	I	介入時に診断あり（アルツハイマー型認知症）	その他のサービス（※2）	—	—	1日
J	80代後半・女	独居	民生委員	Ⅱb	—	—	—	—	1日

※1 認知症高齢者等は、要介護（要支援）認定者のうち、日常生活自立度がⅡ以上と判定された人

※2 その他のサービスは「認知症カフェ」「体操教室」等インフォーマルサービス

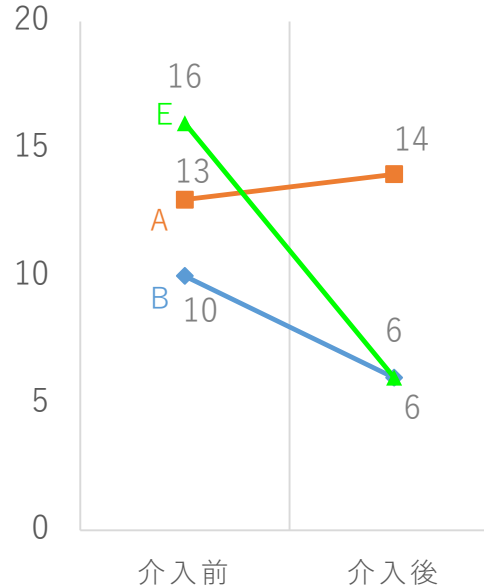
# 各評価スケールの変化

平成30年4月から平成31年1月末までの支援終了者介入後アセスメント実施3例  
(2名未実施)

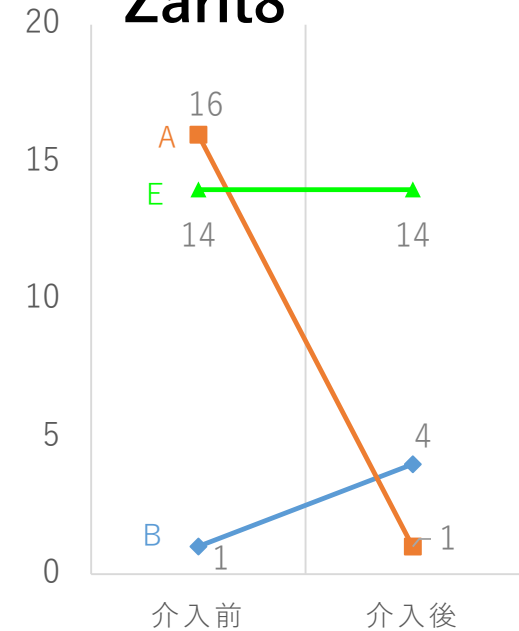
## DASC21



## DBD13



## Zarit8



- ・ DASC21：認知機能障害と生活機能障害の評価スケール。31点以上で「認知症の可能性あり」と判定。
- ・ DBD13：認知症に伴う行動障害の評価を行う。高いほど障害が大きい。
- ・ Zarit8：介護者の介護負担の判定を行う。高いほど負担が大きい。